

平成16年度予算(案)内示のポイント

1. 2007年供用開始に向け2期事業を着実に推進

厳しい財政状況の中、2期事業を進める上で必要な事業費の内示。

単位:億円

	<u>事業費</u>	<u>国費</u>
2期施設整備事業	36	10
2期用地造成事業	900	600

2. 経営改善に向けての環境整備

将来の完全民営化に向け、安定的な経営基盤を確立するため、引き続き補給金の内示。

単位:億円

<u>補給金</u>	90
------------	----

平成16年度 予算(案)の内示について

平成16年度予算財務省原案において、関西国際空港株式会社、関西国際空港用地造成株式会社の建設事業費955億円、補給金90億円が内示されましたのでお知らせいたします。

1. 建設事業費

(単位:億円)

事業区分	事業内容	事業費
2期事業	施設整備事業(上物) ・ 空港諸施設の実施設設計及び南側連絡誘導路整備(1期島側)に伴う試験工事を実施	36 (25)
	用地造成事業(下物) ・ 埋立工事等を実施	900 (900)
小計		936 (925)
1期事業	・ 既存施設の能力増強を実施	19 (17)
建設事業費合計		955 (941)

2. 補給金

安定的な経営基盤を確立し、有利子債務の確実な償還を期すための補給金。

(単位:億円)

補給金	90 (90)
-----	-----------

注1) ()内は、15年度当初予算を示す。

注2) 2期事業の用地造成は、「関西国際空港用地造成株式会社」が行う事業。

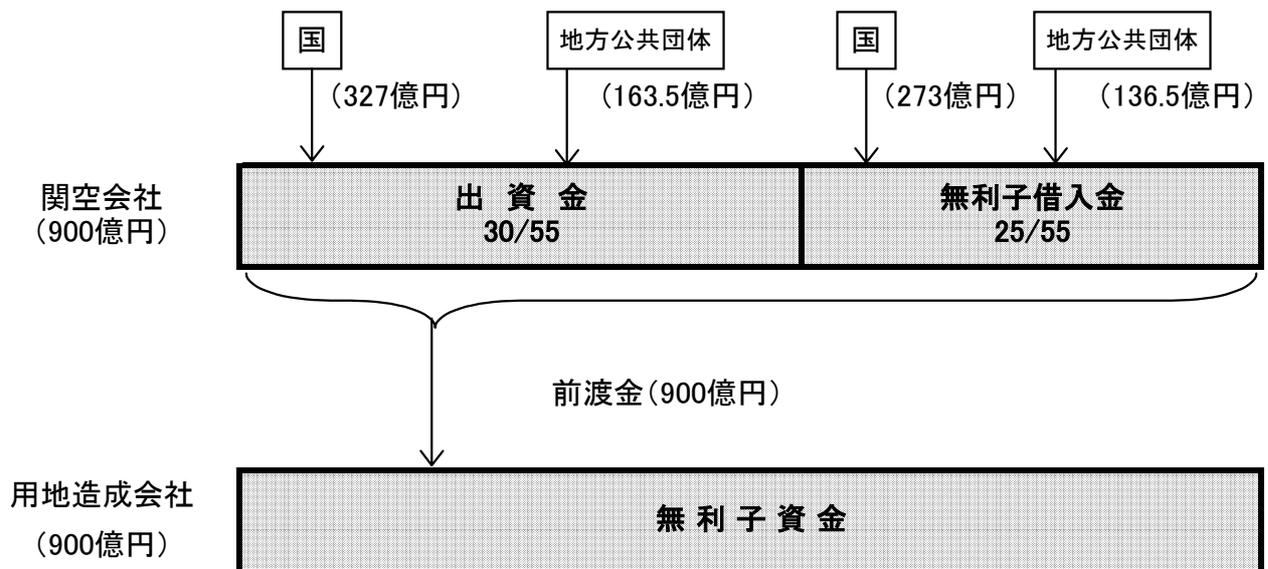
注3) 端数処理の関係で合計が一致しない。

2期事業に係る資金フロー

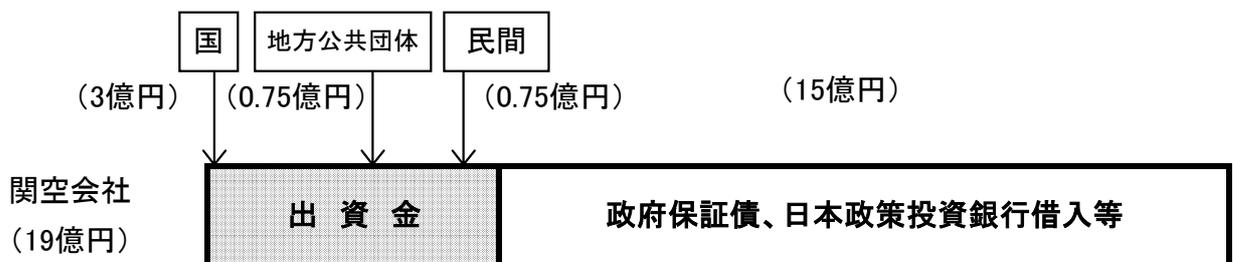
【施設整備】



【用地造成】



1期事業に係る資金フロー



その他の関西国際空港に関連する予算(案)内示について

「空港アクセス等航空サービス高度化推進事業」の一環として、航空旅客・関空訪問者等の増大効果を検証するため、関空連絡橋通行料の引下げを内容とする社会実験に必要な経費が、国土交通省の16年度予算(案)において認められました。

なお、社会実験の詳細については、今後、関係機関で調整の上、具体化を図ることとされています。

社会実験概要

連絡橋通行料金を大幅に引下げ(現行:普通車(往復)1,730円)



例えば、普通車(往復)1,100円や900円で社会実験を実施

あわせて、ETCを利用した場合の関空連絡橋と阪神道路公団等の有料道路の乗継ぎ割引及び関空駐車場料金割引について実施を検討

詳細な実験内容については今後関係機関で調整

空港アクセスの改善

関空連絡橋通行料金に関する社会実験

アクセス料金・時間の面で問題あり



関空連絡橋の通行料金の引下げ実験の実施

航空旅客・関空訪問者等の増大効果の検証

■あわせて、ETCを利用した場合の関空連絡橋と阪神高速道路公団等の有料道路の乗継ぎ割引及び関空駐車場料金割引に関する社会実験の実施を検討



